テーマに関連した用語の調査

用語＝電子化、電子書籍、その他

電子化とは

 １ 仕事などにコンピューターを導入すること。「契約手続きを―する」

 ２ 紙の文書などを、コンピューターで使えるようデジタルデータにすること。「書類を―す る」

デジタル大辞泉 電子化

電子書籍とは

 書籍と同じような体裁で閲覧できるようにつくられた電子データ。専用のｄ遠視書籍リーダーや、パソコン、スマートフォン、タブレットPCなどのブラウザーやビューワー上で読む。CD-ROMやDVDなどを使ったパッケージになっているものや、デジタルコレクションとしてインターネットによって配信されているものなどがあり、PDFやEPUB、XMDF、AWZなどのファイル形式が多くつかわれている。

ポプラメディア 電子書籍

電子化された書籍データ。紙で印刷するのではなく、スマートフォンやタブレット型端末、パソコン、専用の電子書籍リーダーなどにデジタルデータを取り込んで閲覧する。データの形式にはPDFやJPEGのほか、EPUB、XMDF、bookなどが強いようされ、文字以外に動画や音声を再生できるものもある。電書。デジタル書籍。デジタルブック。eブック。

デジタル大辞泉 電子書籍

専用の端末や、タブレットやスマートフォンなどの携帯端末、パソコンで読むことのできるデジタルデータ化された書籍。電子ブック、デジタル書籍、デジタルブック、Eブック、オンライン書籍ともよばれる。

コトバンク 電子書籍

 つまり、電子書籍は、書籍をデータにして、パソコンやスマートフォンやタブレットなどの端末で読むことのできる書籍の事を指す。

電子書籍の歴史

 1971年、イリノイ大学のマイケル・S・ハートが著作権切れの作品を公開する電子図書館「プロジェクトゲーテンブルク」を立ち上げる。これがいわゆる世界初の電子書籍だと言われている。日本においては、1990年代よりソニーがCD-ROM(ロム)をメディアに使った電子書籍専用リーダー「Data Discman DD-1」をのリリースを開始。1993年にはNECが3.5インチのフロッピーディスクを使った「デジタルブックプレーヤー」を発売した。ともに専用端末を使用するもので、コンテンツには辞典や実用書、趣味の書籍などが用意された。2007年9月、アメリカの国際電子書籍フォーラム（IDPF）が電子書籍フォーマット（EPUB）を発表。電子書籍作成の基盤が整い、AmazonがKindle端末を販売開始。2010年、AppleからiPad（タブレット端末）が販売されたことに加え、スマホが急速に普及し始めた。それにより、世間から電子書籍が周知されるようになり、それにより、この年を電子書籍元年と言われている。

電子図書館

電子化したネットワークなどを通じて検索・閲覧できるようにしたシステム

日本国語大辞典 電子図書館